

丙  
一  
五  
九  
三

立案 昭和 年 月 日  
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官



清水高等商船學校訓育官長坂政二  
外一名叙位取消件

元

宮内省

昭和三年六月廿一日裁可  
臺帳記入 / 月 / 日官報報告濟

裏面白紙



清水高等商船學校訓育官長坂政二  
外一名叙位取消ノ件  
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十年六月二十一日  
内閣總理大臣男爵鈴木貫太郎

内

閣

令  
位  
第  
三  
四  
號

案 起

昭  
和  
三  
十  
年  
六  
月  
十  
九  
日

裁 可

昭  
和  
三  
十  
年  
六  
月  
廿  
一  
日

決 定

昭  
和  
三  
十  
年  
六  
月  
廿  
一  
日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

清水高等商船學校訓育官長坂政二  
外一名敍位取消ノ件今般運輸大臣ヨリ  
別紙ノ通奏請之有今更不都合ニ候得  
共事實已ムヲ得サルモノト認メラルルニ付  
該敍位取消上奏相成然ルヘシ

内閣

裏面白紙

めくれず

裏面白紙

位三十四

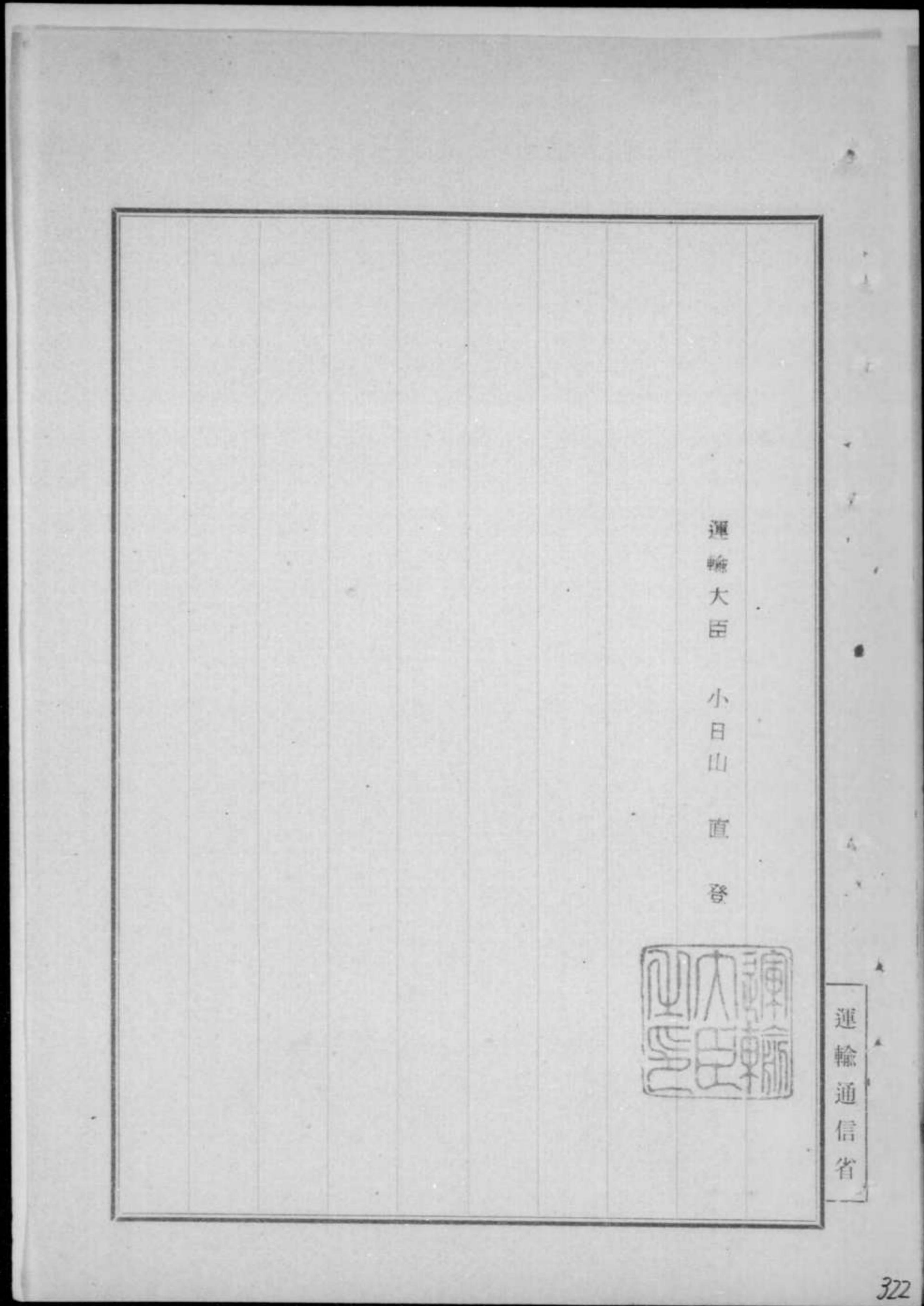
運輸通信省

昭 和 二 十 年 三 月 十 五 日	正 七 位	清水高等商船學校訓育官	長坂政二
昭 和 二 十 年 五 月 一 日	正 七 位	航海訓練所教授	勝田勝郎

昭  
和  
二  
十  
年  
三  
月  
十  
五  
日  
表  
可  
昭  
和  
二  
十  
年  
五  
月  
一  
日  
表  
可

右ノ者頭書ノ通相當位宣下ノ處同人等ハ既ニ昭和十九年二月十五日孰レモ **海軍大尉** トシテ正七位ニ叙チャラレアルコト判明  
 憲ニ恐懼ノ至ニ存候得共該叙位取消方被仰出度  
 謹  
 テ  
 奏  
 ス

昭和二十年六月十八日



運輸大臣 小日山 直 登



運輸通信省

裏面白紙



省 信 通 輸 運

秘 恩 第 一 二 九 二 號 ノ 二

昭 和 二 十 年 六 月 十 八 日

運 輸 大 臣 官 房 秘 書 課 長

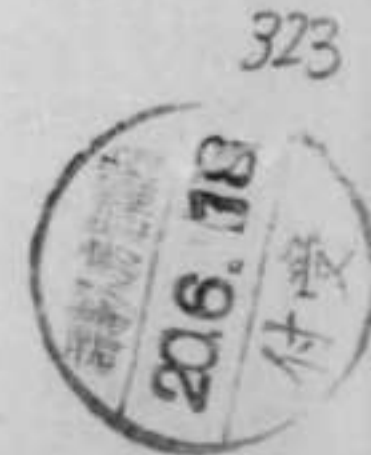
内 閣 官 房 人 事 課 長 殿

叙 位 取 消 ！ 件

昭 和 二 十 年 三 月 十 五 日 清 水 高 等 商 船 學 校 訓 育 官 長 坊 政 二

叙 正 七 位 航 海 訓 練 所 教 授 勝 田 勝 一 郎

右ノ者高等官六等 叙ト共ニ頭書ノ通相當位宣下ノ處同  
人等ハ既ニ昭和十九年二月十五日孰レモ海軍  
尉トシテ正七位ニ叙セラレ居リタルコト判明本件ハ當省



裏 面 白 紙

運 輸 通 信 省

ノ分級位上奏ノ際履歷書對査シ處執レモ  
 ニ任用ヲラレアルコト登載ナク隨ツテ之ニ伴フ相當位々  
 ル正七位ノ前級アルコトモ記載ナキ爲行違ヲ生シタルモ  
 ノニシテ尙夫々高等商船學校卒業者ニテ海軍豫備員令ニ  
 依ル將校ノ前歴アリ豫備機關中尉同相當位ノ記載有リタ  
 ルニ付履歷ノ正確ヲ期スル爲海運總局總務局人事課ニ對  
 シ武官關係ニ就キ其ノ後ノ身分異動ノ有無照會ハシ處何  
 レモ異動無キ旨回答アリタルモノナル處今回當省上奏ノ  
 分發令ヲ見タル結果同人所屬箇所ヨリ海軍大尉並ニ  
 相當位タル正七位ノ前級アル旨海運總局ニ通報アリテ初  
 メテ重複ハシコト判明ナルモノニテ今更恐懼ノ至ニ存候  
 得共今後ハ如斯過誤無キ様關係當務者ニ戒飭ヲ與ヘ置候  
 ニ付テハ今回限り寛大ナル御高配ニ依リ取消方御配意相  
 煩度度御依頼候

海軍

大尉

裏面白紙

裏面白紙

運輸通信省

秘恩第一二九二號

一、清水高等商船學校訓育官長坂政二外一名敍位取消ノ件  
別紙上奏書及進達候也

昭和二十年六月十八日

運輸大臣 小日山 直 登



内閣總理大臣 男爵 鈴木 貫太郎 殿